

(と て 保 存 し ま し ょ う)

昭和六十二年度の当初予算

一般会計 十三億四千万円
特別会計 四億三百万円

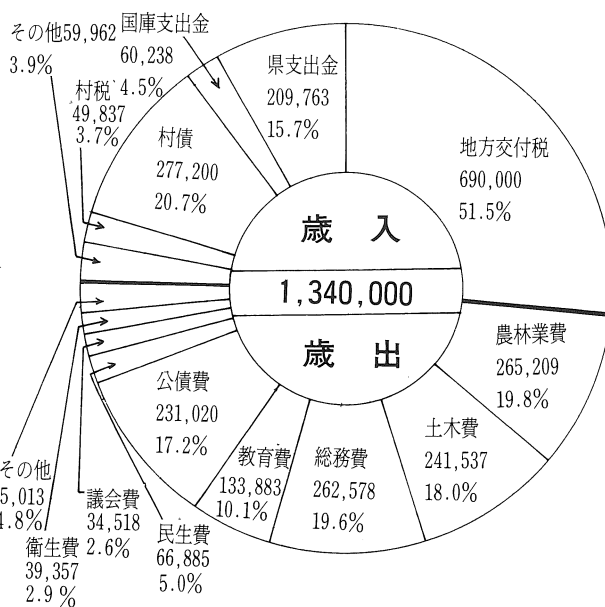
村民の皆様の行政に対する温かいご理解により、六十二年度の行政も順調に進展を見ることが出来ました。又、財政面におきましても、大きな余裕を持って六十三年度を迎えることが出来ましたこと、誠に有難く厚くお礼を申し上げます。

昭和六十三年当初予算につきましては、
一般会計 十三億四千万円
特別会計 四億三百万円
を計上いたしました。

予算編成にあたっては、社会情勢や地方財政の厳しい状況の中で、経費全般について節減合理化を図り、村民福祉の充実に基調に「活力ある個性豊かな村」の実現を図るため、昨年の当初予算に対し、一一・九%増の積極的な予算を編成しております。本村の基本構想であります「心豊かで逞しい農林業の村」実

- 現に財源の重点配分を行い、ふる里の宿をスタートラインとした観光開発特産品の開発を始め、地域経済の発展を図るため公共事業を確保し、村の活性化に取り組んでおります。今年度の主な事業は
- 一、ふるさと公園整備 九千四百万円
 - 二、農道改良舗装事業 農道赤ヶ滝地区外一〇件 一億七千四百万円
 - 三、林道新設改良舗装事業 林道日境線外二路線 二千三百万円
 - 四、道路橋梁新設改良事業 村道植松中津線外九件 一億六千八百万円
- など、農林業の振興や生活環境整備、観光の推進に健全財政を維持し、村民の皆様方の協調と共助の力を得ながら、活力ある村づくりを推進します。すのでよろしく願います。

一般会計の構成表 表 1



特別会計 表 2

	S63年度 当初予算	S62年度 当初予算	比較
国民健康保険 事業会計	千円 165,569	千円 178,724	% 7.9
老人保健会計	135,655	109,907	20.0
診療所会計	90,399	80,768	10.6
簡易上水道会計	11,756	11,276	4.1
計	403,379	380,675	5.6

'88 5 月

発行

河辺村公民館

☎ (0893) 39-2111

内線 26・27

佐川印刷 KK

吉田町北小路

☎ (0895) 52-0600

人のうごき

(昭和63年 5 月 1 日現在)

世帯数 580戸

男子 910人

女子 888人

計 1,798人

S. 62.5.1~1,862 (- 64)

S. 61.5.1~1,899 (-101)

S. 60.5.1~1,953 (-155)

S. 59.5.1~1,969 (-171)

S. 58.5.1~2,051 (-253)

やねばし

「みつともないでしよう。はずかしい。行儀よく食べなさいや。」「笑われるぜ、あんたの食べ方は、黙って食べなさいや。どうした子じやろと思われようがい。」

これは先日の子の連休のとき、あるファミリーレストランで耳にした言葉である。

ある本に、外国の親の言葉で、同様な場面がのっていた。「やめなさい。隣のひとがいやな思いをされるでしょう。礼儀正しく待ちなさいね。」「他の人に迷惑をかけるようなことは、してはいけません。食事のマナーを守りなさい。」

国は違い、注意の仕方は違っていますが、どちらも自分の回りの人に不愉快な思いをさせないようにということでは、同じだと思えます。

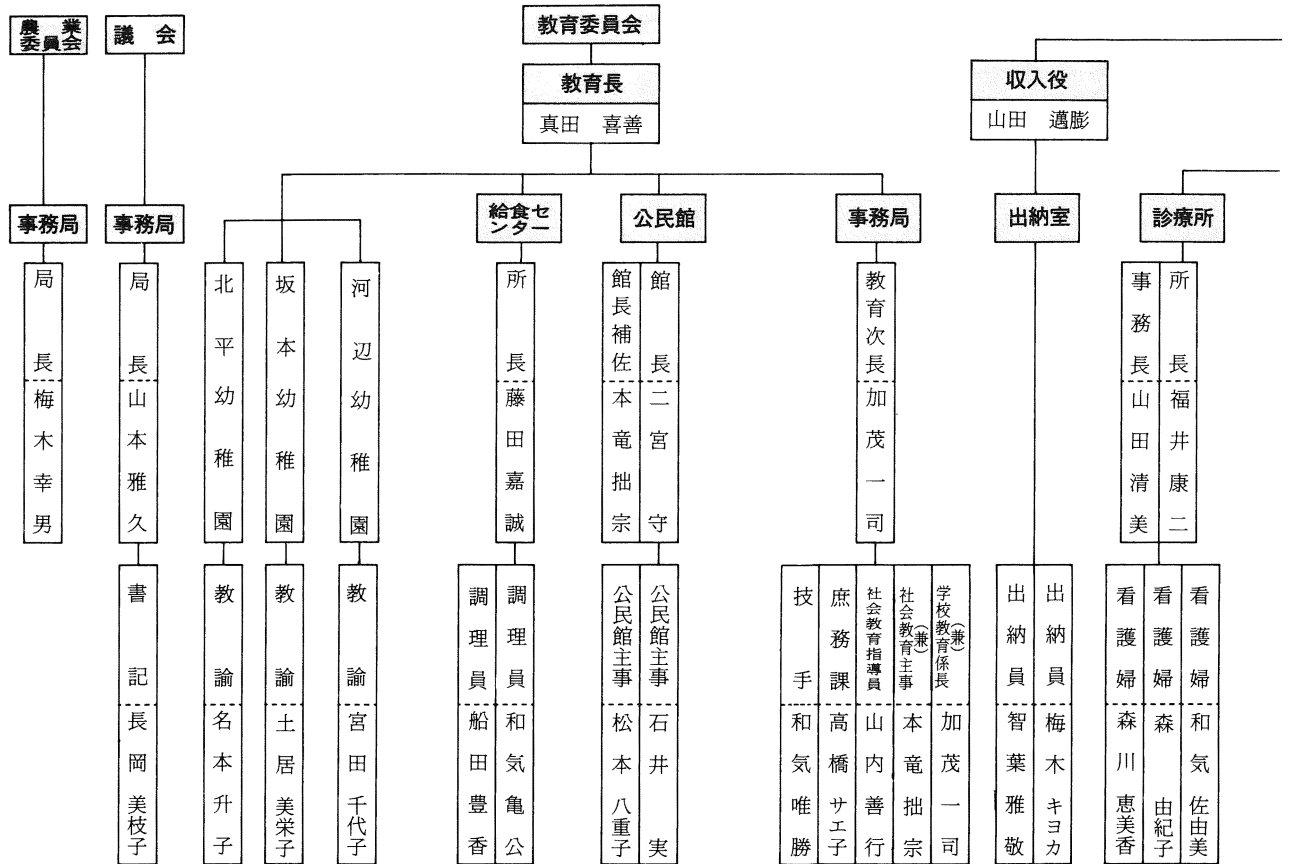
礼儀正しくすることは、人の間で決められた約束ごとである。約束ごとであるなら、約束を守らなくては出来るはずがない。

(佐)

※教職員の人事異動
◇河辺中学校
校長 長平 達男
〈豊茂小学校から〉

※教職員の人事異動
◇河辺中学校

職 員 配 置 一



栄養職 平岡 佳織
〈新採〉



◇坂本小学校
教諭 佐川 千恵
〈新採〉



教諭 福舩 妙子
〈北平小学校から〉



◇河辺小学校
教頭 佐川 文彦
〈中野小学校から〉



◇北平幼稚園
助教諭 名本 升子
〈河辺幼稚園から〉



◇河辺幼稚園
教諭 宮田 千代子
〈北平幼稚園から〉



教諭 紙田 直美
〈久米小学校から〉



◇北平小学校
校長 水本 勝好
〈大瀬小学校から〉

公民館活動計画

みんな参加しよう！

今年度の活動計画が次のように決まりました。

公民館活動は「あなたが主役です」積極的にご参加いただき、村づくりを共にすすめましょう。

☆活動方針

社会教育基本方針にもとづき、公民館を拠点にしながら分館・自治公民館の施設を活用し、地域住民の自発的な学習や活動をうながして、自治活動の向上と連帯意識の醸成につとめる。

☆重点的な取りくみ

「ふるさとを愛する人づくりをめざす」

一分館の自主的な活動を奨励

- ※各種スポーツ活動
- ※地域づくり座談会
- ※世代間の交流会
- ※同和教育講座など
- 二ふるさと意識を高める活動を推進
- ※ふるさと祭り
- ※産業文化祭
- ※花いっぱい運動

◎青少年対象

青少年の健全育成をはかるため、社会教育活動への参加をうながし、子ども会や青年団体の指導者養成につとめる。

- (ア)子ども会リーダー研修会
- (イ)子ども会活動
- (ウ)青年学習会
- (エ)世代間交流会

◎婦人対象

婦人の主体性を高める学習活動を通じて婦人団体の育成助長につとめ、生活改善の合理化をはかる。

- (ア)幼児家庭教育講座（父母の教室）
- (イ)婦人学級
- (ウ)ボランティア活動
- (エ)世代間交流会

◎成人・高齢者対象

分館および自治公民館単位による活動を通じ、積極的に学習への参加を促し、生きがいをもてる活動を推進する。

- (ア)地区交流講座
- (イ)高齢者教室
- (ウ)クロッキー大会

- (エ)高齢者運動会
- (オ)ボランティア活動
- (カ)世代間交流会

◎文化活動

郷土の歴史や文化のうつりかわりを再確認するとともに、自主的な文化活動を育成助長し、うるおいのある新しい文化の創造につとめる。

- (ア)館報の発行
- (イ)県立図書館移動文庫（いよじ号）の活用
- (ウ)産業文化祭
- (エ)文化協会の育成
- (オ)民俗資料の収集
- (カ)扇子おどりの保存伝承
- (キ)かわべ音頭の普及
- (ク)文化財めぐり
- (ケ)ふるさと祭り
- (コ)人材銀行の活用
- (ク)視聴覚機器の活用
- (シ)文化講演会の活用

◎同和教育

国民的課題である同和教育を正しく理解するとともに、差別の現実から深く学び、学校・家庭・社会の連携を密にした学習活動を通じて、すべての村民が進んで取り組む同和教育を推進する。

- (ア)学級・講座での学習会
- (イ)校区别同和教育懇談会
- (ウ)地区別同和教育懇談会
- (エ)同和教育指導訪問

- (オ)広報・資料などの配布
- (カ)調査活動
- ◎社会体育

スポーツ・レクリエーションの日常化を進めて、地域の連帯意識づくりと健康づくりにつとめる。

- (ア)クロッキー大会 5月
- (イ)バレーボール大会 6月
- (ウ)ナイターソフト大会 7月
- (エ)県民体育祭郡大会 9月
- (オ)県民体育祭管内大会 10月
- (カ)第24回村民運動会 10月
- (キ)高齢者運動会 未定
- (ク)卓球大会 11月
- (ケ)バトミントン大会 11月
- (コ)健康マラソン大会 12月
- (サ)ゲートボール講習 随時
- (シ)バンパー講習 随時

※5つの呼びかけ

- 1、あいさつをかわそう
(いつでも・どこでも・だれにでも)
- 2、時間を守ろう
(決められた時間の厳守)
- 3、ものを大切にしよう
(生活のむだ・むら・みえをなくして)
- 4、地域を美しくしよう
(美しい花の咲くふるさとづくりを)
- 5、スポーツにすすんで参加しよう
(健康づくりはみずからの手で)

お知らせ

- 6月19日 分館バレーボール大会
- 6月27日 ふるさとの宿落成式典
- 7月1日～31日 えひめクリーン運動月間
- 7月2日 ふるさとの宿オープン
- 7月3日 村内一斉清掃デー
- 7月5日 文化講演会
- 8月14日 成人式
- 8月14日 ふるさと祭り

※「ふるさとの宿」

オープニングイベントご案内

▲芹 洋子コンサート▼

- ☆とき 7月2日夜7時～
- ☆ところ 河辺中学校体育館
- ☆入場無料

※「ふるさとの祭り」

のご案内

- ☆とき 8月14日 4時～
- ☆ところ 河辺中学校グラウンド
- カラオケ大会
- 夜店
- 歌謡ショー
- 納涼盆おどり大会
- 花火大会

皆さんどうぞお楽しみに！

(株)「ゆうとぴあ河辺」を設立

— 村の活性化めざす —

第三セクター方式（行政と民間が共同出資をして事業体をつくる方式）で産業おこし、会社の設立が検討されておりました。が、このたびは会社名が「株式会社ゆうとぴあ河辺」と命名され発足することになりました。ユートピアは、「理想の国」「理想の郷」の意味がある。

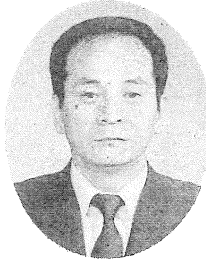
ります。ユートピアを「ひら飯名」で表現することにより、優しさを表し、優しさあふれる理想の郷河辺をつくる会社として地域活性化の一翼を担ってまいりたいと存じます。会社の当初計画は、資本金四〇〇株二〇、〇〇〇千円でしたが、村内外より多数の皆様のお賛同を得て、五二〇株二六、〇〇〇千円の資本金となりました。

会社の目的は

- (一) 特産品の研究開発
- (二) 農林産物、その他特産品

就任のごあいさつ

助役 田中 弘



新緑の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

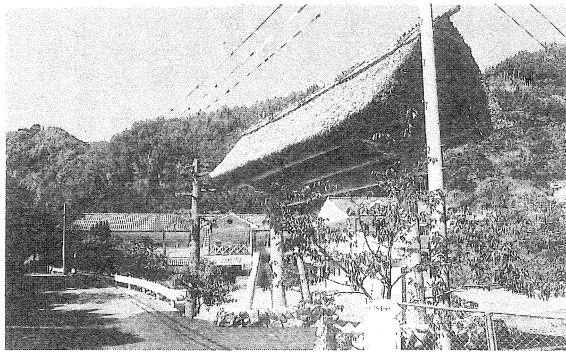
私こと、このたび村長の御推せんをいただき、村議会の皆様の一致した御同意を得、三月十一日付をもつ

て河辺村助役として、村政に参与する機会を与えていただきましたことは、私にとつて誠に光榮に存じますと共に、大変感激をいたしており、同時に責任の重大さを痛感しております。もとより微力ではございますが、公僕として住みよい村づくり、福祉向上のため誠心誠意努力する覚悟でございますので、今後とも変わらぬ温かい御支援と御指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

及びみやげ物の販売

- (三) 簡易宿泊施設及び食堂の経営
- (四) 観光事業
- (五) 演劇、映画その他各種興業
- (六) スポーツ・アスレチック施設等、体育施設の経営
- (七) 英会話教室などの学習塾及び各種カルチャースクールの経営
- (八) 上記に附帯する一切の業務

以上のような事業に取り組む計画ですので、今後、村民の皆様のお会社としてご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



ふるさとに望む

沖田 菖
(旧姓七五三)
大中山 出身



〇幼き日母の傘もて追ひかけし飛び交ふ螢青葉もて追ふこの時私には二十代でした。故里大中山を一望の元に見上げられる土橋から小川に沿って無数に群がる螢火はそれは壮観なものでした。今も眼を閉じると蛙の合唱と共に鮮やかによみがえって来ます。故里は遠く離れて思うもの、正に然り、私は「いたんば採りしかの山、こがに追いかの川」と歳を重ねる程にその思い強く、過ぎし日々を懐かしんでおります。

と、いつのまにか門口に野菜が置いてあること等……。今も変わらぬ隣り組の情けに感激したことでした。私にはこのようないつでも昔を偲ぶことの出来る温かい故里があることをありがたく思います。

あれから三十年。河辺もずいぶん変わりました。立派な道路、役場、そして学校……。思い出される石ころの小道やかやぶきの屋根が姿を消してしまつたことは淋しい限りですが、それは、そこに住む人にとつて便利でなくてはならぬ仕方のないことです。一人住まいの母から聞いたことですが、朝いつまでも戸を開けないでいると、はるか下の方から大声かけて下さるこ

物河辺から引越し根づいて、四季折々私を慰めてくれます。その地にいた時は何となく見られた小川の岸辺に咲いた水の花の透き通った輝き、当然のことながら何の感慨もたず渡つた屋根橋等が、今ではこよなく尊い宝であり誇りに思えるのです。どうか河辺にしかない数々の文化遺産が、そして豊かな自然が永久に守られますよう、心からお祈りいたします。

〇咲き出でし我が家庭辺の春蘭に思ひを馳せぬ河辺の里に

関係役職員の紹介

今年度の各種役職
委員をご紹介します
ので、今後ともよろ
しくお願い申し上げ
ます。

☆公民館運営審議会
(十三名)

会 長 向井 猛
(再)

副会長 土井 敏
(再)

☆文化財保護審議会 (四名)
会 長 大森 高知 (再)

☆館報編集委員 (四名)
戸田 薫明・福耕 明昭
佐川 文彦・梅木 良照

☆体育指導委員 (四名)
富永 忠寿(バレーボール) (新)

同和教育シリーズ

(28)

ぼくをだめにしないで
今朝、ただし君は少し頭痛
がして気分がすぐれません。
お母さんに話しましたが、お
母さんは

「今日は、算数のテストがあ
るのでしょう。がんばって行っ
てらっしゃい。」

ただし君は、がまんして学
校へ行きました。家に帰ると、
待ちうけていたお母さんは、
「テストはどうだった。」

藤田 豊寿(野球) (再)
高木 昭(バドミントン) (再)
中津 博文(ソフトボール) (新)

☆分館長 (四名)
植松分館長 富永 順一 (再)
坂本分館長 宮本 吉生 (再)
大伍分館長 花岡 努 (再)
北平分館長 梅木 正 (新)

☆青年会議
議 長 谷本 寿幸 (再)
副議長 二宮 光恵 (新)
副議長 山本五月也 (新)
事務局長 樽井 優 (新)

☆婦人会
会 長 北川 照子 (再)
副会長 神山恵美子 (再)
副会長 加茂 良子 (再)
植松分会長 船田久美佳 (再)

坂本分会長 小川 栄栄 (再)
大伍分会長 梅木キヨカ (再)
北平分会長 寿野 一子 (再)

☆老人クラブ
会 長 本田 一 (再)
副会長 松井満寿雄 (再)
植松クラブ会長 高橋 武夫 (新)
坂本〃 〃 熊野 政六 (新)
大伍〃 〃 松井満寿雄 (再)
北平〃 〃 本田 一 (再)

☆連合PTA
会 長 古野 青弘 (再)
副会長 梅木 良照 (新)
副会長 露内テル子 (新)
副会長 水本 勝好 (新)

☆区長会
会 長 岡林 寛 (再)
副会長 菊池 進 (再)

とたずねました。体のことは
何も言いませんでした。
テストが返されました。85
点です。お母さんは、少しがっ
かりした顔をしています。

お母さんはたずねました。
「おさむ君は何点だったの。
おとなりのゆき子ちゃんは？」

「あんな子にも負けるなんて。」
ただし君はゆううつです。
いくらがんばってもほめられ
ません。そして、いつも友達
の点を聞かれるからです。

お母さん！あなたははどうで
しょうか。よその子と比べる

ことだけで、我が子をみてい
ませんか。
知らず知らずのうちに、我
が子の輝きをうばっていませ
んか。
ひとの心を傷つけ、人間関
係をゆがめる言葉や態度はな
いでしょうか。
やさしく、思いやりがあり、
痛みや苦しみを分かちあえる
子どもを育てましょう。

(同和教育協議会河辺支部)



歌

短

終戦より他人住みしや喜多商行
四十余年経て知る由もなし
つましく歌会の席に在りし日の
君のみ歌を繰り返し詠む
底冷えの講堂しばし静まりて
卒業生らの今入らんとす
老いし身は逢うが別れと宵ざれて
人の死にぎわ生さざま語る
海峡のうずの名残りか白き泡
白蛇の如くたゆたいており
生涯のみにくきこの身ひきずりて
明日を生きぬく人の手をかり
大場 ナツ

上林ヨシ子
戸田 薫明
佐伯 範男
佐伯 君子
増本喜久男

消 息

自 63・1・11
至 63・5・10

☆お誕生おめでとう

川上 新 佳与 父 正利
稲谷 酒井裕美子 父 勇
日 除 藤田真桃絵 父 豊樹

☆末ながくお幸せに

〔往見 康範(下大成)〕
〔柴田 満恵(熊ノ坂)〕
〔山本 幸夫(中 居)〕
〔藤岡真由美(五十崎町)〕

☆おくやみ申し上げます

植松 松本 正則 89歳
百合谷 大田倭文弥 80歳
神納 徳見 清一 91歳
寺 藪 安部 文一 86歳
帯 江 前田チヨコ 49歳
大中山 佐々木トモヨ 85歳

「いよじ号」巡回図書の間計画について

日頃、公民館図書や県立図
書館巡回図書をご利用いた
さありがとうございます。

河辺公民館に配本される年
間計画の期日をお知らせいた
します。

第1回目 6月16日
第2回目 9月14日
第3回目 12月8日
第4回目 3月10日
ぜひご利用ください。